

## 名古屋大学 未来材料・システム研究所 研究員または特任助教の募集について

名古屋大学 未来材料・システム研究所・高度計測技術実践センターでは、  
下記の通り研究員または特任助教を募集します。

職名	研究員または特任助教
勤務形態	常勤（任期あり）
勤務条件	<ol style="list-style-type: none"><li>給与：年俸制（本人の勤務経験等を考慮して、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程に基づき決定します。）、期末・勤勉手当、退職手当は支給されません。</li><li>加入保険：文部科学省共済組合（健康保険、厚生年金）、雇用保険、労災保険</li><li>勤務形態：裁量労働制</li><li>休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）</li><li>休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇（夏季休暇等）</li></ol>
職務内容	<p>【雇入れ直後】</p> <p>電気電子工学、構造生物学、材料科学のいずれかの分野における研究の遂行。特に、下記の項目について勤務期間内にエフォートを配分して遂行する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>透過電子顕微鏡を用いた構造解析</li><li>時間分解ナノ顕微法をもちいた構造解析（高速オペランドデバイス解析または生体高分子計測）</li></ul> <p>【変更の範囲】</p> <p>東海国立大学機構が指定する業務</p>
募集人員	1名
勤務場所	<p>【雇入れ直後】</p> <p>名古屋大学 未来材料・システム研究所 高度計測技術実践センター X線分光計測部 ナノダイナミクスG（名古屋市千種区不老町）</p> <p>【変更の範囲】</p> <p>東海国立大学機構が指定する就業場所</p>
募集条件	<ol style="list-style-type: none"><li>博士の学位を取得した者、あるいはそれに準ずる研究の能力と経験を有する者。</li><li>レーザー、電子顕微鏡、超高真空、X線構造解析、細胞構造分析のいずれかの技能と経験を有する者が望ましい。</li><li>ナノ材料、超高速現象、構造生物学などの領域に関心を有し、それらの分野の研究者と連携し、共同研究プロジェクトを推進できる者。</li></ol>
雇用期間	<p>2024年9月1日以降できるだけ早い時期から 2025年3月31日 年度ごとに更新の可能性あり。</p> <p>（契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断）</p> <p>最長 2028年3月31日まで。</p>
募集期間	2024年8月31日まで。適任者が見つかれば次第締め切ります。
応募書類	<ol style="list-style-type: none"><li>履歴書（写真を添付、研究技能を明記のこと）</li><li>研究業績リスト（論文・学会発表・受賞・獲得した研究費：様式自由）</li><li>応募内容について照会できる方1名の氏名・所属・連絡先</li><li>※ 応募に際して頂いた情報は選考目的以外には一切使用いたしません。なお、応募書類は返却しませんのでご了承ください。応募書類の送付、問合せは以下の連絡先までメールにてお願いします。</li></ol>

選考内容

書類選考および面接（対面またはオンラインで実施）

連絡先

名古屋大学 未来材料・システム研究所 高度計測技術実践センター

教授 榑原 真人

Tel/Fax : 052-789-3705

E-mail : [kuwahara@imass.nagoya-u.ac.jp](mailto:kuwahara@imass.nagoya-u.ac.jp)

その他

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。

これに伴い、本公募に応募の際には「類型該当性判断のフローチャート」を確認したうえで、様式1「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。

以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。

<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/SngAFPBWp52NCyB>

なお、採用となった場合は別途「誓約書」の提出が必要となります。